

ゆたかな労働と 生活の場をめざして

発行. 社会福祉法人ときわ会 〒187-0032 小平市小川町 2-1159 番地
URL <http://www.asayake.or.jp>

あさやけ
だより
No. 450

あさやけ作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-4575
あさやけ第二作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-1564
サングリーン	小平市小川町 1-943 番地	TEL 042-345-1585
あさやけ鷹の台作業所	小平市小川町 1-411 番地	TEL 042-346-2167
共同ホームつくしんぼ	小平市小川町 1-944-30 番地	TEL 042-342-7550
共同ホームこげら	小平市上水南町 2-21-17 番地	TEL 042-325-8716
共同ホームサンライズ	小平市小川東町 5-2-11 番地	TEL 042-346-0472
地域生活支援センター「あさやけ」	小平市小川東町 4-2-1 番地	TEL 042-345-1741
	小平元気村おがわ東 1 階	
共同ホーム一歩	小平市花小金井 7-2-24 番地	TEL 042-349-0305
あさやけ風の作業所	小平市中島町 3-8 番地	TEL 042-349-2366
共同ホームはやぶさ	小平市小川町 1-497-13 番地	TEL 042-313-6269
共同ホームさらさ	小平市小川町 5-2-12-1 番地	TEL 042-313-2217



あさやけ風の作業所二階テラスにある CAZE CAFE は、雑木林に囲まれて、とても安らぐ空間になっています。隣には「こもれひの足湯」もありますので、玉川上水を散策がてらお寄り下さい。

新緑のカフェ

CAZE CAFE

先月、待望のグループホームさらさが完成し、娘も入居させていただくことになりました。娘の障害がわかってからの年月、悪戦苦闘の日々が続きました。そして、たくさんの方々に助けられながら、作業所で生き生きと働く姿を見せてくれるまでに成長してきました。周囲の皆さんには、本当に感謝の気持ちで一杯です。そして、親もやがて年をとり、子どもがフォロワーが難しくなる時が来ます。その時のためにも、いつかグループホームで生活

できるようになってくれたらと考えていました。でも、なかなか踏み出す機会がありませんでした。特に、二年前からは、狭い所や暗い所、初めての+場所等に、不安や緊張で入れなくなっ

てしまいました。建物だけでなく、乗り物にも不安を抱くようになり、行動範囲も制限されるようになりました。突然の変化に戸惑いながらも、本人の様子を見ながら経験を重ね、少しずつ良くなっていました。元に戻るのには、遠い日のように思われました。しかし、ときわ会が作る新しいグループホームの計画が順調に進み、この機会に挑戦しようという心を決めました。入居が決まってから、娘のことを良く理解して

さらさへの入居にあたって

保護者 福田 恵子

くれている職員さんが、グループホームと作業所で連携して支えて下さり、娘の不安を少しでも取り除くように、きめ細かい配慮を下さっています。そのおかげで、一ヶ月前には、建物の中に入ることも出来なかったのが、自分の部屋にも入れるようになり、そして、なんと宿泊が出来たのです。予想も出来ない嬉しい驚きでした。

娘は作業所のカフェの仕事が大好きで、地域のボランティアさんやお客さんに支えられ、交流も生まれてきました。今度は、生活の場を地域の中に与えて頂きました。建物の完成直後には、地域の皆さんへのお披露目会があり、近隣の方達が、ご家族やお友達と一緒に訪ねて

下さいました。地域の中で、周囲の人達に見守られながら生活して行けたら、こんな嬉しいことはありません。これからの日々を、みんなで助け合い、穏やかに暮らして行けますように、そして、個性豊かな五人の笑顔で、彩りあふれる「さらさ」を織りなして行けますように願っています。

仲間紹介

ひとりひとりが太陽



仕事の正確さが一番!

工藤 健司さん

(あさやけ作業所)



今回紹介する仲間は、あさやけ作業所しらくま班の工藤健司さんです。毎日片道十五分の道のりを雨の日も風の日も自転車で通ってDMの封入や機械部品へのネジ入れ作業を行っています。以前は休みがちだった工藤さんでしたが、この最近二年間は休む事も無く元気に登所しています。

物静かで落ち着いている印象の工藤さん、作業が始まるとネジ入れ作業は誰にも負けません。スピードと正確さは班でも一番の存在で黙々と作業を終了させては「もう無いですか?」と物足りない様子、納期の短縮に貢献してくれています。最近では牛乳パックやダンボールの資源回収にも自ら手を挙げて「いきます。」と、積極的に作業に取り組んでいます。

生活の面では、グループホームの利用に向けての取り組みも昨年度からチャレンジ、「宿泊に不安は無いですか?」と

の職員の間にも「大丈夫です。」と力強く答えている姿もあり生活の幅も広がって来ています。

いつもは寡黙な工藤さんですが、週一回水曜日に行われるクラブ活動は意外にもカラオケを選別、レパートリーも幅広く、中島みゆきや海援隊の懐メロから、千の風になって等の名曲をやさしい歌声で披露、どの歌も九十点以上の高得点を叩きだし、周りから「うまい」「癒やされる」と歓声もあがり一部の女性のハートをわしづかみ。それでも歌い終えると、席に戻り自分の順番が来るまでは静かに腕組みをして微笑んで待つ工藤さん。ダンディーです。

これからも、そのやさしい歌声と微笑みで作業所のみんなを包み込んで癒やしの存在でいてください。

ときわ会六番目のホーム 共同ホームさらさ開設

さらさは、女性のホームとして計画され、五月から五名の利用者で生活が始まりました。現在、利用者が生活しているのは月曜日の夕方に金曜日の朝までとなっています。金曜日は、朝ホームを出発し仕事を終えたらそのまま自宅へ帰り、土日は自宅で過ごしています。ホームの名称「さらさ」は法人内で募集した中から選考して決まりました。「さらさ」は「さらさら」の音で、インド起源の木綿地の模様染め工芸のことです。この名前には「ホームでの生活を、その人らしい、ひとり一人の色で染め上げていきたい」という願いが込められています。



地域お披露目会
四月十五日に地域の方に向けてお披露目会を行いました。入居される利用者とそのご家族にも参加していただき、地域の方との交流をしました。お披露目会では、さらさの建物内を簡単に説明させていただき、その後はお茶を飲みながら談笑をするとても和やかな会となりました。これからは、さらさも地域の一員として様々なことに参加していき地域の方との交流を大切にしていきたいです。

五月一日には、共同ホームさらさの開設記念として、入所されるメンバーとそのご家族の方と職員で夕食をみんなで一緒に食べました。はじめて、作業所からホームへ来たメンバーは、はじめは緊張もしている様子でありましたが、しばらくすると職員に自分の部屋を紹介したり、のんびりとソファでくつろぐとても微笑ましい場面も見られました。そして、みんなが大好きな夕食は、入所されるメンバーのお母様方がお昼から愛情のたっぷり入った素敵な料理を作ってくれました。みんなの大好物の入った愛情たっぷり



りな夕食はとても美味しく、みんなとっても素敵な笑顔で嬉しそうに料理を食べていました。食事の際には、ご家族やメンバー、職員もとても和気あいあいとしており、和やかで温かな素敵な時間を過ごせた会になりました。これからも、五月一日のような和やかで温かな時間の流れる食事ができるホームになるといいですね。



家族から

娘の門出
さとの大きな門出です
我が家の大きな門出です
お世話になった皆様のお顔が満ちる門出です
末永くさらさ
心底願う 門出です
上田 実・幸子

人付き合いの苦手な由美子
ホームでお友達も出来
楽しい生活が出来て
長く元気でいてほしいです
麻生 邦子

「さらさ」に入るにあたって、子供が一日も早く環境に慣れること、また、楽しく生活が出来るよう親は願っております。

子供は身体の障害が重度のため、職員の皆様の負担を考えるとなかなか思い切れないものですが、親が考えているより本人の方がしつかりしているようで、少しは大丈夫かなと思うようになりました。しかし心配は切れることはありません。

職員の皆様にはいろいろご迷惑をおかけすると思いますが、よろしくお願ひ申し上げます。
泉 和子

職員から

準備の中で強く感じたのは、親御さんやご家族が、障害を持った娘さんのことを本当に大切に思っておられることです。どのご家族も、ご本人を最優先に考え、少しでも居心地よく、楽しく、健康にやいように心を砕いて暮らして来られたことがよくわかりました。「さらさ」でも安心して暮らせるよう、できる限りの準備をされてきました。

そしてご本人たちは、緊張もし、心も揺れながら、「さらさ」で生活することに、それぞれ覚悟を固めて来られたようです。

近所の皆様には、ときわ会の他のホームの見学や話し合いの中でご理解を深めていただいたと伺いました。どの方もとても温かく迎えてくださいました。よく耕された土により種が撒かれた、というように感じました。ありがとうございます。

「さらさ」、始まりました。入居される方にとって、世界一はご実家でありましょうが、世界で二番目に好きなところになれたらいいなあ……。
村岡 佐知子

私は、四月からときわ会で働かせていただき、さらさの立ち上げの段階から携わりました。始めは「自分に何が出来るのだろう」という不安な気持ちから今思うと立ち上げの一員だという自覚を持っていませんでした。しかし、一緒に働く職員や携わる様々な方と関わっていく中で「自分にできることは何か」と考えるようになり皆でホームを作っていく、自分もその一員なんだという自覚が芽生えていったことを覚えています。そのため、さらさにメンバーさんが初めて来てくれた時や、自分の居室のベッドなどに座っている姿を見た時はとても嬉しく、これからの生活で全員がリラクスして過ごせるホームを目指していきたいと思っていました。
相田 みお



この春から私もときわ会に採用となり、四月から新しく開設された共同ホームで開設時の準備から関わらせていただく事ができたこと、とても嬉しく思います。共同ホームの準備をさせていただく中で、入所されるメンバーさんやそのご家族の皆様、共同ホームさらさの近くの地域の皆様など様々な方々と関わらせていただく中で、「共同ホームさらさ」という場所が素敵な時間を過ごせる温かなホームになったらいいなという想いが強くなりました。私自身、まだ勉強させていただく事も多くありますが、共同ホームさらさがメンバーさんが一人ひとりの素敵な個性や今までの暮らしを生かした素敵なホームになるように私も頑張っていきたいと思っております。
谷 琴名

今年もご期待ください

あさやけ第二作業所



40周年記念合同作品（昨年度出品作品）

月一回の創作部で描いた作品、全員で描く詩と絵のコラボ、合同作品など多彩な表現を今年もお届けします。お楽しみに。

今年度展に向けてみんなから一言

- ・ときめきのある絵に出会いたい(Oさん)
- ・今年も面白い絵を描きたい(Yさん)
- ・味のある作品を作り続けたい(Iさん)
- ・いろんな作品を観るのが楽しみ(Sさん)



あさやけ作業所 絵画クラブ

あさやけ作業所では、毎週水曜日の午後にクラブ活動を行っています。その中のひとつ、絵画クラブは現在4月に新入所した方を含め14名で活動をしています。毎月2回は、講師の方をお迎えし季節の作品（このほりやハロウィンのかぼちゃなど）や立体作品、絵画作品など様々な種類の作品を生み出しています。

そんな絵画クラブのメンバーはこの時期になると、あるイベントに向けての作品作りを行います。その名も、あさやけアートフェスティバルです。

昨年度のあさやけアートフェスティバル2016では、はじめて企画されたクローズアップで、1人のメンバーにスポットライトを当てました。選ばれた方は、楽しかった思い出や日常など自分自身が経験したことを絵で表します。しかし「ゆめのせかい」と題された彼女の作品は、現実に体験したことを表すことの多い普段の作品とは違い、幻想的な魅力を持っていました。クローズアップ以外のメンバーは、版画・立体・イラストを出品しました。メンバーが同じ道具を使って同じ方法で作るはずの版画・立体でも、それぞれの「色」が作品に写し出されていました。ホールに並んだ作品たちは、それぞれの「色」を出しながらもあさやけ作業所としてまとまりのあるものでした。

絵画クラブのメンバーはそれぞれが持っている「色」を作品という1つの形で表しています。あさやけアートフェスティバル開催期間限定で観ることのできる、絵画クラブのメンバーの「色」を是非観に来て下さい。また、作品以外にもあさやけ作業所ではふきん、パンやピースアクセサリーなどの自主製品の販売も行っています。普段の仕事が垣間見える販売品もチェックしてみてください。



私たちの作品を見に来てください！

～アートフェスティバルのご案内～



アートフェスティバルに向けて各事業所での取り組みの様子をお伝えします。今月はあさやけ鷹の台作業所の絵画サークル、あさやけ作業所の絵画クラブ、あさやけ第二作業所の創作部の紹介になります。

あさやけ鷹の台作業所 絵画サークル

鷹の台作業所では、毎週絵画を取り組むサークル活動をおこなっています。参加は自由で、それぞれが自分の描きたいものを自由に描いています。活動日は一応水曜日の作業終了後と決まっていますが、「今日、描いていいですか？」という感じで、時間のある時には水曜日に限らず取り組んでいく人もいます。

題材もひとそれぞれ、同じ題材で何枚も描く人もいれば、毎回違う題材で描く人もいます。単色で淡く決める人、絵の具をたくさん使って色鮮やかに描く人、時間をかけてじっくりと取り組む人もいれば、サッと描き終える人もいて、これがまた味のあるいい作品だったりして・・・みんな個性的で、描く人の人柄がよく出ているなどいつも感心させられます。この中から、なんと、きょうせれんグッズコンクールに昨年と今年2年連続で入選作品を出すことができました。

アートフェスティバルには、普段描きためたものの中から出品することになりますが、みんな自分の作品を出してほしいという気持ちが満々。普段はあまりサークルに参加しない人が、この時期になると

参加をし始める人がいたり、やはり自分の作品を見てもらえるという機会はとても貴重ですし、普段の取り組みの励みにもなりますね。昨年は、共同作品も取り組みましたが、今年はどんな個性あふれる作品が観られるか、どうぞ期待！！



ASAYAKE ART FESTIVAL

あさやけアートフェスティバル2017
2017/6/30(金)~7/4(火)

フシギなチカラが
ここに
ある

参加団体
あさやけ作業所
あさやけ第二作業所
サンダリーン
あさやけ風の作業所
あさやけ農の台作業所
グループホーム一歩
地域生活支援センターあさやけ
おだまき工房
みーとほびなこ(NPO法人ともこネット)

主催 あさやけアートフェスティバル2017実行委員会
後援 小平市社会福祉協議会
お問い合わせ あさやけ農の台作業所 042-346-2167

ルネこだいら展示室
10:00~18:00(最終日15:00まで)

同時開催
なかまちテラス内
CAZECAFÉなかまち
11:00~17:00

6/30(金)~7/4(火)

廃品回収のお知らせ

4月の廃品回収の回収量は12,210kgでした。内訳は新聞8,285kg、雑誌・ダンボール3,925kgです。収益は小平市の資源回収補助金も含めて190,215円でした。

次回は6月17日(土)が回収日です。

雨天の場合は中止とさせていただきます。